

ユニセフのつどい 2018 in みやぎ ～ 安田菜津紀さん講演会「世界の子どもたちと向き合って」

6月9日（土）、仙台市シルバーセンター・交流ホールにて開催し、230名が参加しました。講師にフォトジャーナリスト安田菜津紀さん（studio AFTERMODE 所属）をお迎えしました。16歳のとき、「国境なき子どもたち」レポーターとしてカンボジアの子どもたち取材したことがきっかけとなり、『伝える』活動に従事するようになりました。中東のシリアには長く関わっています。シリアの紛争は2011年に発生し、8年目になっています。紛争前のシリアは治安もよく平和な国でした。紛争前は2,200万人だった人口のうち、半分以上の1,200万人が国内外に避難民となって逃れています。彼らを苦しめてきたのは、世界から無視されること、関心が寄せられないこと、自分たちの声が届かないことでした。東日本大震災とも関わりが深く、岩手県陸前高田市のお話もありました。常に人々の心に寄り添った取材から、安田さんの優しさを感じることができました。子どもたちにレンズを向けるとき、「あなたに対する願い」「これからに対する願い」を込めてシャッターを切っていると話されました。

講演終了後に、著書の販売とサイン会がありました。著書は74冊のご購入がありました。また、参加者からのユニセフ募金には56,637円のご協力がありました。皆さま、どうもありがとうございました。



UNICafe～気軽なユニセフ入門講座 5月26日（土）

世界の出来事や開発途上国で暮らす子どもたちに関心を持っていただけるような、気軽な学習会を開催しています。この日は「クイズで学ぶユニセフ」、ワークショップ「5歳まで生きられないって、なぜ?」、写真や動画「ユニセフと地球のともだち」などで、世界の子どもたちの現状とユニセフの活動について理解を深めま



した。また、最も支援を必要としている人たち～「ロヒンギャ難民への支援」を短い動画で見てくださいました。3名の方がボランティアに登録してくださいました。

「子どもの権利に関するパネル展」



展示期間：4月23日（月）～5月2日（水）
展示会場：宮城県庁1Fロビー

毎年、宮城県とともに「児童月間」にあわせて、「たいせつな未来の命を守りたい」との想いを広く県民にお知らせしました。

【ご紹介】 新しいパネル「ユニセフってなあに」と「ユニセフ活動の手引き（DVD付き）：学校向け」



いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割が注目されています。世界の子どもたちの状況を知ること、未来を守る持続可能な世界を築くための取り組みを知ることは、社会や世界の困難な課題に立ち向かう方法を知ることにつながります。新しい写真パネル・ポスターやDVDをぜひご活用ください。学校の皆さまだけでなく、団体に活動される皆さまへも貸し出しを行っています。ユニセフ学習会やユニセフ募金活動などご活用ください。お申し込みは電話でお願いします。貸し出しライブラリーの一覧はホームページからごらんください。なお、パネル（52cm×73cm）は大きい箱に入っています。送料のご負担をお願いいたします。